

施策名	目標6-3 国際協調による取組				
施策の概要	POPs条約(残留性有機汚染物質に関するストックホルム条約)や、現在制定に向けて国際交渉中の水銀条約などの化学物質関連条約について、関連する施策を推進するとともに、OECD、UNEP等の国際機関との連携及び諸外国との国際協力を図り、化学物質による地球規模の環境汚染を防止する。				
達成すべき目標	化学物質関連条約に関する施策を推進するとともに、OECD、UNEP等の国際機関との連携を図り、化学物質による環境リスクを低減させる。また、東アジア地域を対象とした化学物質対策に係る国際協力により、有害化学物質による地球規模の環境汚染を防止する。				
施策の予算額・執行額等	区分	22年度	23年度	24年度	25年度
	予算の状況(千円)				
	当初予算(a)	333,213	246,719	194,406	177,025
	補正予算(b)	2,160	△ 489	0	
	繰り越し等(c)	0	0	(※記入は任意)	
合計(a+b+c)	335,373	246,230	(※記入は任意)		
執行額(千円)	342,483	234,309	(※記入は任意)		
施策に関する内閣の重要政策(施政方針演説等のうち主なもの)	-				

測定指標	1 GHSに基づく環境有害危険性分類を新規に実施した分類物質数	基準値	実績値					目標値
		年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
		-	332	266	232	204	180	160
	年度ごとの目標値		332	266	232	180	190	
2 化学物質に関する国際的プロジェクト等への貢献、連携の進捗状況	施策の進捗状況(実績)						目標	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>水銀条約の制定に向けた第5回政府間交渉委員会においては、条約条文案が合意された</li> <li>平成24年9月にSAICM国内実施計画を策定</li> <li>水銀廃棄物管理に関するUNEPパートナーシップにおいて、廃棄物からの水銀放出の管理に関する優良事例集の策定を推進</li> </ul>						年度	
3 アジア太平洋地域における物質管理等の進捗状況	施策の進捗状況(実績)						目標	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>POPs条約については、条約の有効性評価に資するため、東アジア地域におけるPOPsモニタリングの協力体制の構築に貢献するとともに、わが国を含め、当該地域におけるPOPsモニタリングをひき続き実施</li> <li>新規POPs条約対象物質の追加を踏まえ、平成24年8月に改定国内実施計画を策定</li> </ul>						年度	

施策に関する評価結果	目標の達成状況	<p>○GHSについては、180物質について分類を行い、目標を下回った。</p> <p>○平成25年1月に開催された水銀条約の制定に向けた第5回政府間交渉委員会においては、条約条文案が合意されるとともに、条約の名称が「水銀に関する水俣条約」に決定され、条約の採択・署名のための外交会議が本年10月に熊本市・水俣市で開催されることが正式に決定した。</p> <p>○国際的な潮流に沿った包括的な化学物質対策の確立と推進に向けた取組のため、平成24年9月にSAICM国内実施計画を策定した。</p> <p>○水銀廃棄物管理に関するUNEPパートナーシップにおいて、廃棄物からの水銀放出の管理に関する優良事例集の策定を主導しているほか、水銀等有害金属の高精度環境監視を実施するなど、国際的な有害金属対策に貢献した。</p> <p>○POPs条約については、条約の有効性評価に資するため、東アジア地域におけるPOPsモニタリングの協力体制の構築に貢献するとともに、わが国を含め、当該地域におけるPOPsモニタリングをひき続き実施した。</p>
	目標期間終了時点の総括	-

学識経験を有する者の知見の活用	水銀、POPs等に係る課題について、専門家による検討会を開催し、その検討結果を取組に反映。
-----------------	---

政策評価を行う過程において使用した資料その他の情報	平成24年度 GHSに係る化学物質基礎データ整備等業務報告書 水銀に関する条約制定のための政府間交渉委員会第5回会合資料 SAICM国内実施計画
---------------------------	--

担当部局名	環境保健部 環境安全課	作成責任者名	上田 康治	政策評価実施時期	平成25年6月
-------	-------------	--------	-------	----------	---------